

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> ホームルーム I	<b>教員名</b> 浜端 郁子	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : <u>前期</u> <u>後期</u> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      クラスでのイベント、地域での活動を決める                      MCLスタンダードプログラムを実施する</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      ・ MCLスタンダードプログラムを実施                      ・ 行事の企画・実施</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                      ・ スタンダードプログラムを通じた 「知識（経験含む）」 「思いやりの心」 「信念に基づく行動力」 を身につける。</p>		
	使用教材	出版社
<b>【使用教室】</b>		
1. <u>HR</u>	2. 介護実習室	3. 家政実習室
4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室
7. その他 (            )		
<b>【評価方法】</b>		
1. 筆記試験	2. レポート	3. <u>出席</u>
4. <u>授業態度</u>	5. 実技試験	
6. <u>その他</u> ( <u>ルーブリック評価</u> )		
<b>【備考】</b>		
評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b>		
有 ・ <u>無</u>		
<b>【内容】</b>		

科目名		科目時間総数	教員名
ホームルーム I		15 限	浜端 郁子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の概要について説明	
2 限	スタンダードプログラム	MCLスタンダードプログラムを実施する	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	HR	必要な話し合い・活動を行う（校内行事など）	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> ホームルームⅡ	<b>教員名</b> 伊藤 優汰	
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> ： 2年 <b>開講時期</b> ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b> MIPsの実施による多職種連携の重要性を学び、連携方法について考える機会とする</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> ・ MIPsを実施</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b> ・ 多職種連携について理解する</p>		
	使用教材	出版社
<b>【使用教室】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR      2. 介護実習室      3. 家政実習室      4. 視聴覚室 5. PC実習室      6. 接遇実習室      7. その他 (      )		
<b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験      2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 <del>6. その他 (      ルーブリック評価      )</del>		
<b>【備考】</b> 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 <b>【内容】</b>		

科目名		科目時間総数	教員名
ホームルームⅡ		15 限	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	MIP s	MIPs第1回	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	MIPs第2回	
6 限	〃	MIPs第3回	
7 限	〃	MIPs第4回	
8 限	〃	MIPs第5回	
9 限	〃	MIPs第6回	
10 限	〃	MIPs第7回	
11 限	〃	MIPs第8回	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> P C I		<b>教員名</b> 伊藤 優汰	
<b>科目時間数:</b> 30 限		<b>授業の種類:</b> <u>講義</u> ・ <u>演習</u> ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・ <u>選択</u>		<b>配当学年:</b> 1年	<b>開講時期:</b> <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・集中
<b>【授業の目的・ねらい】</b> Word・Excelの基本的な操作を習得し、練習問題を解くことによって理解度を確認し、確実に操作能力を身につける。			
<b>【授業全体の内容の概要】</b> ・テキストを使用し、Word・Excelの知識を深め、実務にいかせるようにする			
<b>【授業における達成課題】</b> ・Word・Excelの違い、特質などを理解する。 ・Word・Excelでの文章や表作り、計算方法など、情報処理の仕方を理解する。			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b> <u>1. HR</u> 2. 介護実習室          3. 家政実習室          4. 視聴覚室 5. PC実習室          6. 接遇実習室          7. その他 ( )			
<b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験          2. レポート <u>3. 出席</u> 4. <u>授業態度</u> 5. 実技試験 <u>6. その他</u> ( 課題提出 )			
<b>【備考】</b> 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <u>無</u>			
<b>【内容】</b>			

科目名		科目時間総数	教員名
P C I		30 限	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	授業の目的、概要を理解する。	
2 限	Wordの概要	Wordで何が出来るかを理解する。Excelとの違いについて理解をする	
3 限	Wordの使い方	Wordの使い方、表示モードの理解、文章表示の変更、保存方法	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	Wordで文章を作成	新規作成とページ設定、日時の挿入、挨拶文の挿入、文章体制	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	Wordグラフィック機能	ワードアート、オンライン画像、オリジナル画像の挿入、文字の効果設定	
10 限	表のある文章を作成	表の作成、レイアウト、表の書式設定	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	振り返り	理解度を問題にて確認	
14 限	Excelの概要	Excelで何が出来るかを理解する。Wordとの違いについて理解をする	
15 限	Excelの使い方	Excelの使い方、表示モードの理解、データ入力方法、保存方法	
16 限	〃	〃	
17 限	Excelで表を作成	新規作成、関数入力、表の書式設定、行や列の操作など	
18 限	〃	〃	
19 限	グラフ作成	グラフ機能の概要、円グラフ、縦棒グラフを作成する	
20 限	〃	〃	
21 限	データ分析	データベースの概要、データの並び替えや抽出、条件付書式の設定	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	アプリ間でのデータ共有	Excelの表をWordの文章に貼り付ける	
25 限	〃	〃	
26 限	振り返り	理解度を問題にて確認	
27 限	課題作成	自由に発表タイトルを決め、その内容に沿ったデータを作成する	
28 限	〃	〃	
29 限	発表	各自、作成したものをプロジェクターを使用し発表する	
30 限	〃	〃	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> <p style="text-align: center;">P C II</p>	<b>教員名</b> <p style="text-align: center;">伊藤 優汰</p>	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年	
<b>開講時期</b> : 前期・後期・集中		
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>            Word・Excelの操作を身につける。            PCの仕組みを理解する</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b>            ・テキストを使用し、Word・Excelの知識を深め、実務にいかせるようにする</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b>            ・Word・Excelを用いてわかりやすい資料を作成できる。            ・Excelでの計算や情報処理ができる。</p>		
	使用教材	出版社
<b>【使用教室】</b> ①. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )		
<b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート                      ③. 出席                      ④. 授業態度 5. 実技試験                      ⑥. その他 (                      課題提出                      )		
<b>【備考】</b> 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無		
<b>【内容】</b>		

科目名		科目時間総数	教員名
P C II		30 限	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	授業の目的、概要を理解する。	
2 限	拡張子	テキストや画像, データにかかわる拡張子について理解する。	
3 限	ショートカットキー	効率的なショートカットキーについて理解する。	
4 限	〃	〃	
5 限	振り返り	理解度を問題にて確認する。	
6 限	数式	Excel : 数式を用いた処理について学ぶ。	
7 限	〃	〃	
8 限	振り返り	理解度を問題にて確認する。	
9 限	コンテンツ作成	PowerPointの機能を用いてイラストを作成する。	
10 限	〃	〃	
11 限	振り返り	理解度を問題にて確認する。	
12 限	印刷	印刷の設定について理解する。	
13 限	振り返り	理解度を問題にて確認。	
14 限	課題作成	テーマに沿った課題をPCを用いて作成する。	
15 限	〃	〃	
16 限	デザインとコンテンツ	デザインの基本的な考えを身につけ、わかりやすい資料を作成できる。	
17 限	PCについて	PCの仕組みやPC上での考え方について理解する。	
18 限	〃	〃	
19 限	インターネットについて	インターネットの仕組みについて理解する。	
20 限	〃	〃	
21 限	WEBについて	WEB上で触れることができるさまざまなコンテンツについて理解する	
22 限	〃	〃	
23 限	振り返り	理解度を問題にて確認する。	
24 限	データ分析	データベースの概要、データの並び替えや抽出、分析からグラフを用いた提示について学ぶ。	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	課題作成	テーマに沿った課題をPCを用いて作成する。	
29 限	〃	〃	
30 限	まとめ	振り返りを行う。	



## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 就職研究 I	<b>教員名</b> 伊藤 優汰		
<b>科目時間数</b> : 8 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 就職活動をスムーズに行うために、働く大切さや、企業研究、履歴書の書き方などを身につける</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 求人票の見方、企業説明会参加など就職活動にむけて授業を展開する</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 1年次末から始まる就職活動に向けた準備ができている 2年次に向けた就職意欲の向上</p>			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( 周辺地域 )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無			
<b>【内容】</b>			

科目名		科目時間総数	教員名
就職研究 I		8 限	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	就職について	就職活動についての説明を行う	
2 限	在校生・卒業生 講話	2年生内定者および卒業生からの講話を実施し、就職に対する意識を作る	
3 限	自己PR	自分の強みを再確認し、自己PR文を作成する	
4 限	履歴書（下書き）	履歴書の下書き作成を行う	
5 限	業界研究	目指す職種の業界について調べる	
6 限	企業研究	目指す職種の企業について調べる	
7 限	履歴書	履歴書の作成を行う	
8 限	就職セミナー	就職セミナーを実施する	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 就職研究 II	<b>教員名</b> 伊藤 優汰	
<b>科目時間数:</b> 8 限	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2年	
<b>開講時期:</b> 前期・後期・集中		
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b> 就職活動を進める</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> 履歴書作成、面接練習など就職活動にむけて授業を行う</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b> 就職活動の準備、内定に向けた取り組みができる</p>		
	使用教材	出版社
<b>【使用教室】</b> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（ 周辺地域		
<b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他（		
<b>【備考】</b> 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無		
<b>【内容】</b>		

科目名	就職研究 II	科目時間総数	8 限	教員名	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1 限	履歴書作成	履歴書の作成を行う			
2 限	〃	〃			
3 限	面接練習	面接対策・練習を行う			
4 限	〃	〃			
5 限	就職活動	就職に向けた活動を行う			
6 限	〃	〃			
7 限	〃	〃			
8 限	〃	〃			

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	<b>教員名</b>	
ビジネス実務 I	吉田 あかり	
<b>科目時間数</b> : 30 時間	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年次 <b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  社会人として職場に必要なビジネスマナーの基礎知識・技術の習得を目指す。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  ビジネスマナーを習得するために必要な知識については主に講義形式で行うが、ロールプレイングやケーススタディを中心に、学生自身が主体的な参加が必須となる実践的な演習を行い、社会人としての言葉遣い、電話・来客対応の基本を学ぶ。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  社会人に必要な基礎的ビジネスマナーを身につけ、学習した知識・技術を実践することができる。</p>		
	使用教材	出版社
学生用	さすが！と言われる ビジネスマナー完全版	高橋書店
	夢実現のための実践行動学	実践行動学研究所
教員参考用	プリント	
<b>【使用教室】</b>		
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室
4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室
	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席
4. 授業態度	5. 実技試験	6. その他 ( )
<b>【備考】</b>		
1. 筆記試験は60点以上を合格とする		
4. 授業態度はルーブリック評価を参考とする		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
<b>【内 容】</b> 職業訓練校等にてビジネスマナー講師としての実務経験あり		

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス実務 I		30 時間	吉田 あかり
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する	
2 限	ファーストイメージ UP術	第一印象の大切さを理解し、身だしなみの基本を実践する	
3 限	〃	〃 表情の重要性を理解する	
4 限	社内業務&マナー	仕事の基本を理解する 挨拶・お辞儀の仕方も基本を習得し、実践する	
5 限	〃	始業前の準備・終業前の心得を理解する 報告・連絡・相談の基本を習得し、実践できる	
6 限	〃	わかりやすい依頼のしかたを習得し、実践する スケジュールのつくり方・整理整頓の基本を実践する	
7 限	会話術	ビジネス会話と敬語の基本を習得する	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	敬語の基本を実践する	
10 限	〃	電話の受け方・かけ方の基本を実践する	
11 限	〃	電話の受け方・かけ方の基本を実践する 電話の取次ぎ・伝言を実践する	
12 限	対顧客マニュアル	来客応対の基本を習得し、実践する	
13 限	〃	来客応対の基本を習得し、実践する ビジネス訪問の基本を習得し、実践する	
14 限	〃	ビジネス訪問の基本を習得し、実践する 名刺の取り扱い方を実践できる	
15 限	ビジネス文書作成法	文書ツールの特性を理解し、文書作成の基本を習得する	
16 限	〃	社外文書作成の基本を習得し、実践できる	
17 限	〃	社内文書作成の基本を習得し、実践できる	
18 限	冠婚葬祭（ビジネス版）	ビジネスにおける冠婚葬祭の基本を習得し、実践する	
19 限	〃	〃	
20 限	総まとめ	学習理解度確認テスト・解説	
21 限	夢実現のための実践行動学（Part 1）	意欲的な心構え 導入・アイスブレイク 夢と目標	
22 限	〃	誤った思い込みと言い訳	
23 限	〃	行動のよりどころと心構え	
24 限	〃	まず第一歩を（言い訳について）	
25 限	〃	目標を設定しよう	
26 限	夢実現のための実践行動学（Part 2）	自分の可能性を広げよう プラス思考・自分をほめる	
27 限	〃	考え方を換えれば行動が変わる	
28 限	〃	あなたの問題はあなたが解決できる	
29 限	〃	コミュニケーションスタイルを見直そう	
30 限	〃	目標が才能・可能性を開花させる	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> ビジネス実務Ⅱ	<b>教員名</b> 吉田 あかり	
<b>科目時間数</b> : 30 時間	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年次 <b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 組織において仕事をする為のあり方及び対人関係のあり方とその基本的な言動としてのビジネスマナーの基本を理解し、総合的に実践できる。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 社会人となったとき、適切な考え方を持って対人関係を円滑にする行動ができるよう、社会人としての言葉遣い、電話応対、来客対応の基本等を学ぶ。 夢実現に向けて、主体的・積極的な行動が出来る。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 社会人として求められる心構えを身につけ、社会人としてのビジネスマナーの基本とサービスマインドを学び、その技術を総合的に実践することができる。 夢実現に向けての意欲的な心構えを身につけ、自分の可能性を広げる考え方と行動ができる。</p>		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
学生用	サービス接遇検定3級受験ガイド 同 問題集 夢実現のための実践行動学	早稲田教育出版 同上 実践行動学研究所
教員参考用		
<b>【使用教室】</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR <input type="checkbox"/> 2. 介護実習室 <input type="checkbox"/> 3. 家政実習室 <input type="checkbox"/> 4. 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 <input type="checkbox"/> 6. 接遇実習室 <input type="checkbox"/> 7. その他 (                    )		
<b>【評価方法】</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 <input type="checkbox"/> 5. 実技試験 <input type="checkbox"/> 6. その他 (                    )		
<b>【備考】</b>		
1. 筆記試験は60点以上を合格とする 4. 授業態度はルーブリック評価を参考とする		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
<b>【内 容】</b> 職業訓練校等にてビジネスマナー講師としての実務経験あり		

科目名		科目時間総数	時間	教員名
ビジネス実務Ⅱ		30		吉田 あかり
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する		
2限	サービスマインドを持った接遇	スタッフの資質（必要要件、従業要件）を理解する		
3限	〃	〃		
4限	〃	専門知識（サービス知識、従業知識）を理解する		
5限	〃	〃		
6限	〃	対人技能（人間関係、接遇知識、話し方）実践する		
7限	〃	〃		
8限	〃	実務技能（問題処理、環境整備、金品管理）を理解する		
9限	〃	〃		
10限	総合実践	電話応対の基本を実践する		
11限	〃	〃		
12限	〃	〃		
13限	〃	来客応対の基本を実践する		
14限	〃	〃		
15限	〃	〃		
16限	〃	社会人としての心構えを習得する		
17限	〃	面接成功のポイントを理解する		
18限	〃	〃		
19限	〃	面接時の立ち居振る舞いを実践する		
20限	〃	〃		
21限	夢実現のための実践行動学（Part 3）	社会へ出る準備を始めよう 入学から今日までの成長を実感しよう		
22限	〃	働く自分をイメージしてみよう		
23限	〃	自分で自分の人生を切り開く		
24限	〃	将来を描いてみよう		
25限	〃	夢実現への第一歩を踏み出そう		
26限	プレゼンテーション準備・作成	ビジネス実務で学び、習得したことをアウトプットする		
27限	〃	〃		
28限	〃	〃		
29限	プレゼンテーション	発表とフィードバック		
30限	〃	〃		



## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 英語講座 I	<b>教員名</b> 川村 繭子
<b>科目時間数:</b> 15	<b>限 授業の種類:</b> 講義・演習・実習
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 1学年
<b>開講時期:</b> 前期・後期・集中	
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける	
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 自分の事を英語で表現できるようになる。 英語でコミュニケーションをとりながら、クラスメートを知り、より発話しやすい環境をつくる。 簡単な英単語がとっさに言える瞬発力を高める。 色々な場面での英会話表現を知り、実際に発話できるように導く。	
<b>【授業における達成課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に英語でコミュニケーションをとる意欲を育て、わからないことを抵抗なく質問したり、考えたり、答えたり、反応したりする事ができるようになる。</li> <li>・ 場面に応じた英会話表現をとっさに発話できるようになる。</li> </ul>	
	<b>使用教材</b>
<b>学生用</b>	Passport 1 second edition Oxford Press
<b>教師参考用</b>	Passport 1 Teacher's guide Passport 1 workbook クイズチャンツ mpi 松香フォニックス出版
<b>【使用教室】</b>	
1. HR	2. 介護実習室
3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
7. その他( )	
<b>【評価方法】</b>	
1. 筆記試験	2. レポート
3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他( )
<b>【備 考】</b>	
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有	
<b>【内 容】</b> 英会話教室での講師経験	

科目	科目名	科目時間総数	教員名
	英語講座 I	15 限	川村 繭子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限 オリエンテーション 英語で自己紹介する	英語で自己紹介する 英語でクラスメートの紹介をする	
2	限 オリエンテーション	テキストの登場人物について知る(グループ毎) Jigsaw Reading 1 テキストの登場人物について知る(グループ交差) Jigsaw Reading 2	
3	限 簡単な英会話表現	How do you say _____ in English? の表現 にとっさに答える Unit 1: Would you like chicken or fish?	
4	限 機内で質問する	Unit 1: Would you like chicken or fish? Unit 1: Would you like chicken or fish? グループ発表	
5	限 簡単な英会話表現	What's color is _____? の表現 にとっさに答える Unit 2: Can I have your passport, please?	
6	限 入国審査に挑む	Unit 2: Can I have your passport, please? Unit 2: Can I have your passport, please? グループ発表	
7	限 簡単な英会話表現	In which month is _____? の表現 にとっさに答える Unit 3: My mother has her own business.	
8	限 家族について話す	Unit 3: My mother has her own business. Unit 3: My mother has her own business. 個人発表	
9	限 簡単な英会話表現	How many _____ are there in _____? の表現 にとっさに答え Unit 5: Are you ready to order?	
10	限 食べ物を注文する	Unit 5: Are you ready to order? Unit 5: Are you ready to order? グループ発表	
11	限 道をたずねる	Unit 6: Where's the station? Unit 6: Where's the station? Unit 6: Where's the station? ペア発表	
12	限	Unit 9: I have a stomachache.	
13	限 病状を話す	Unit 9: I have a stomachache. Unit 9: I have a stomachache.	
14	限 まとめ	確認テスト ふりかえり	
15	限 まとめ	テスト振り返り ミニワークショップ	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 英語講座Ⅱ	<b>教員名</b> 川村 繭子	
<b>科目時間数:</b> 15	<b>限 授業の種類:</b> 講義・演習・実習	
<b>必修・選択の別:</b> 必修・選択	<b>配当学年:</b> 2学年	
<b>開講時期:</b> 前期・後期・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 日本を紹介する(もてなす)簡単な英単語、英会話がとっさに言える瞬発力を高める。 色々な場面での英会話表現を知り、実際に発話できるように導く。 英語での面接試験、職場での英語の使用に役立つような表現を知る。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> ・積極的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を学ぶ。 ・場面に応じた英会話表現をとっさに発話できるスキルを習得する。 ・習得した英語スキルを活かし、就職活動や、就職、社会に出た後に使用できるビジョンを構想できるようにする。 ・MCLでの2年間やこれからの生活について、自分の言葉で表現する。</p>		
	<b>使用教材</b>	
<b>出版社</b>		
学生用	Passport Plus	Oxford Press
教師参考用	Passport Plus Teacher's guide	Oxford Press
	Passport Plus workbook	Oxford Press
	おもてなしチャンツ	mpi 松香フォニックス出版
<b>【使用教室】</b>		
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室
4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室
7. その他( )		
<b>【評価方法】</b>		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席
4. 授業態度	5. 実技試験	6. その他( )
<b>【備考】</b>		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		
<b>【内 容】</b> 英会話教室での講師経験		

科目名		科目時間総数	教員名
英語講座Ⅱ		15 限	川村 繭子
教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標	
1	限	既習ユニットの復習	オリエンテーションワークショップ 既習ユニットの復習
2	限	簡単な英会話表現	Welcome to Japan! に関連した表現 を英語でとっさに言う Unit 11: What time does it start?
3	限	自ら質問する	Unit 11: What time does it start? Unit 11: What time does it start?
4	限	簡単な英会話表現	Just One Word ! 英語でとっさの一言を言う Unit 13: I really like rugby.
5	限	趣味について語る	Unit 13: I really like rugby. Unit 13: I really like rugby.
6	限	簡単な英会話表現	Asking Questions 英語でとっさに質問する Unit17: We're staying five more days.
7	限	残りの日々について語る	Unit17: We're staying five more days. Unit17: We're staying five more days.
8	限	簡単な英会話表現	Breakfast, Lunch, and Dinner の際に英語表現 をとっさに言う Unit 20: What did you like the best?
9	限	思い出を語る	Unit 20: What did you like the best? Unit 20: What did you like the best?
10	限	まとめ	確認テスト ふりかえり
11	限	最終スピーチ準備	確認テスト振り返り 最終スピーチのテーマ(卒業、就職活動、研究テーマ、新生活など)
12	限	最終スピーチ準備	最終スピーチの準備(提出→添削)
13	限	最終スピーチ準備	最終スピーチの準備(プレゼン資料づくりpowerpoint など)
14	限	まとめ	最終スピーチ発表 ふりかえり
15	限	まとめ	最終スピーチ発表 ふりかえり

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 資格検定対策講座 I (簿記)	<b>教員名</b> 佐々木 謙蔵		
<b>科目時間数</b> : 60	限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> : 1年	<b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>                  企業での活動を適切かつ効率的に行うための簿記の知識・技術を身につける。</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b>                  簿記の基礎・取引の記帳から決算・帳簿と3伝票制など、簿記の記帳手続きの流れや会計処理の方法を適切に処理できる能力を養う。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b>                  全経簿記3級の合格</p>			
	使用教材	出版社	
	全経簿記能力検定試験3級 問題集 全経簿記能力検定試験3級 テキスト	ネットスクール出版 //	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度  <input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>			
<p><b>【備 考】</b>                  評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無  <b>【内容】</b> 教育機関での職務経験あり</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
資格検定対策講座Ⅰ（簿記		60	佐々木 謙蔵
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	帳簿の基礎	帳簿の基礎	
2 限	〃		
3 限	〃		
4 限	〃		
5 限	仕訳と転記	仕訳と転記/勘定と転記/仕訳帳と総勘定元帳	
6 限	〃		
7 限	〃		
8 限	〃		
9 限	決算の手続き	決算とは/試算表の作成	
10 限	〃		
11 限	〃		
12 限	〃		
13 限	〃		
14 限	〃		
15 限	現金と当座預金	原器・当座預金	
16 限	〃		
17 限	商品売買	3分法/掛取引・返品/商品売買に関する帳簿/売上原価対立法	
18 限	その他の費用と収益	費用の支払い/収益の受け取り	
19 限	〃		
20 限	〃		
21 限	〃		
22 限	手形	約束手形/手形貸付金と手形借入金	
23 限	〃		
24 限	その他の債権債務	未収金・未払金/前払金・前受金/仮払金・前受金/立替金・預り金	
25 限	〃		
26 限	〃		
27 限	〃		
28 限	現金過不足金・小口現金	過不足金/小口現金	
29 限	〃		
30 限	〃		

限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 限	税金・引出金	消費税の処理/引出金と税金
32 限	有権証券と固有固定資産	有権証券/固有固定資産
33 限	株式の発行	株式会社の資本構成/株式の発行
34 限	決算の手続き	決算整理事項/売上原価の計算/貸倒れの見積もり/消耗品費の処理/費用の繰延/費用の見通し
35 限	〃	
36 限	〃	
37 限	〃	
38 限	〃	
39 限	〃	
40 限	〃	
41 限	〃	
42 限	清算表・財務諸表	清算表/損益計算表と貸借対照表/帳簿の締切
43 限	〃	
44 限	〃	
45 限	〃	
46 限	伝票会計・試算表	3伝票制/試算表作成問題の解き方
47 限	〃	
48 限	過去問題	
49 限	〃	
50 限	〃	
51 限	〃	
52 限	〃	
53 限	〃	
54 限	〃	
55 限	〃	
56 限	〃	
57 限	〃	
58 限	〃	
59 限	〃	
60 限	〃	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	資格検定対策講座Ⅱ	<b>教員名</b>	伊藤 優汰
<b>科目時間数</b> :	30	限 <b>授業の種類</b> :	講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> :	必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> :	2年
		<b>開講時期</b> :	前期 ・ 後期 ・ 集中
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>                  リテールマーケティング検定3級の合格を目指す                  商品を扱う際に必要な知識について理解する</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b>                  テキストを中心に、検定対策を行う</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b>                  リテールマーケティング検定3級の取得</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
	リテールマーケティング検定3級 テキスト	成美堂出版	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( 検定結果 )		
<b>【備考】</b>			
評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無			
<b>【内容】</b> 教育機関での職務経験あり			



科目名 資格検定対策講座Ⅱ		科目時間総数 30 限	教員名 伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の目的、資格試験概要を理解する。	
2 限	小売業とは	生産者から消費者への物流の流れを学ぶ	
3 限	〃	フランチャイズについて学ぶ	
4 限	〃	販売形態について学ぶ	
5 限	〃	店舗形態について学ぶ	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	マーチャンダイジング	商品について学ぶ	
10 限	〃	店舗別の商品計画について学ぶ	
11 限	〃	ディスプレイについて学ぶ	
12 限	〃	価格設定について学ぶ	
13 限	〃	販売・在庫管理について学ぶ	
14 限	ストアオペレーション	開店準備について学ぶ	
15 限	〃	発注について学ぶ	
16 限	〃	包装について学ぶ	
17 限	〃	ディスプレイ器具について学ぶ	
18 限	確認	問題に取り組み、理解度を確認する	
19 限	マーケティング	マーケティングの基本について学ぶ	
20 限	〃	顧客維持について学ぶ	
21 限	〃	プロモーションについて学ぶ	
22 限	〃	売り場づくりについて学ぶ	
23 限	〃	照明について学ぶ	
24 限	販売・経営管理	マナー・接客について学ぶ	
25 限	〃	法令について学ぶ	
26 限	〃	経営管理について学ぶ	
27 限	検定対策	検定受験に向けた対策を行う	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	まとめ	振り返りを行う	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 生涯スポーツ演習Ⅱ	<b>教員名</b> 伊藤 優太	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ <u>演習</u> ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・選択	<b>配当学年</b> : 2年	
<b>開講時期</b> : <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  様々なスポーツやボランティア活動を経験し、様々な対象への指導や、福祉の考え方を理解する</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  小学生から高齢者まで、様々な年齢層への運動指導や、地域のボランティア活動への参加を実施する                  (いはと一ぶスポーツクラブ)</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  様々な年齢層への安全で正しい指導ができる                  福祉分野の学校としての心の構えを理解できる</p>		
	使用教材	出版社
<b>【使用教室】</b>		
1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室 <u>7. その他</u> (各施設、体育館)		
<b>【評価方法】</b>		
1. 筆記試験                      2. レポート <u>3. 出席</u> 4. 授業態度 5. 実技試験 <u>6. その他</u> (ルーブリック評価)		
<b>【備考】</b>		
評価について：出席率及び報告書の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <u>無</u>		
<b>【内容】</b>		

科目名 生涯スポーツ演習Ⅱ		科目時間総数 30 限	教員名 伊藤 優太
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の進行の流れについて理解する	
2 限	計画	前期に実施するボランティアおよび活動の計画を行う	
3 限	〃	〃	
4 限	計画の実施	計画したボランティア・指導活動を実施する	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	前期まとめ	振り返りを行う。	
16 限	計画	後期に実施するボランティアや活動の計画を立てる	
17 限	〃	〃	
18 限	計画の実施	計画したボランティアおよび活動を実施する	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	まとめ	前期・後期の振り返りを行う	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ概論 I	<b>教員名</b>	中井 大輔
<b>科目時間数</b> :	15	<b>限</b>	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ <input type="radio"/> 演習 ・ <input type="radio"/> 実習
<b>必修・選択の別</b> :	<input checked="" type="radio"/> 必修 ・ <input type="radio"/> 選択	<b>配当学年</b> :	1
		<b>開講時期</b> :	<input checked="" type="radio"/> 前期 ・ <input type="radio"/> 後期 ・ <input type="radio"/> 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  &lt;バイオメカニクス&gt; 「物体（人体）の動きを定量的、また定性的に分析すること」、また、「その際に、活用する基本的な物理演算方法を理解すること」を学ぶ。                  &lt;スポーツ生理学&gt; 様々な運動様式に対する生理学的反応を理解すること、また推測できるようにすること。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  &lt;バイオメカニクス&gt; バイオメカニクスの基礎理論（運動学・運動力学）を学ぶ。物体（人体）の動きを理解するのに必要となる物理的法則を取り扱う。                  &lt;スポーツ生理学&gt; スポーツ生理学の基礎理論を学ぶ。主に、運動・スポーツによって呼吸循環器系・骨格筋系の生理機能がどのように反応していくのかを取り扱う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  &lt;バイオメカニクス&gt; 物体（人体）の動作を定量的に評価できるようにすること。物理演算方法を活用して、動作を数値化できるようにすること。                  &lt;スポーツ生理学&gt; 身体の生理学的反応を理解し、それをもとにより効果的な運動様式の選択、また、指導ができる能力を身につける。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
生徒用	トレーニング指導者テキスト〔理論編〕	NPO法人 日本トレーニング指導者協会 編著	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                  5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度                  5. 実技試験                      6. その他（                      小テスト 全4回                      ）</p>			
<b>【備考】</b>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無			
<b>【内容】</b> トレーナーとしての勤務経験			

科目名	科目時間総数	教員名
スポーツ概論 I	15 限	中井 大輔
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	イントロダクション	<バイオメカニクス> バイオメカニクスとは? 体の動きを表す用語 <スポーツ生理学> 内部環境の恒常性/内部環境の定常状態
2 限	<バイオメカニクス> 運動の記述 <スポーツ生理学> 呼吸循環系と運動	<バイオメカニクス> 基本単位・スカラー量とベクトル量 <スポーツ生理学> 呼吸循環系の基礎的情報
3 限	<バイオメカニクス> 運動の記述 <スポーツ生理学> 呼吸循環系と運動	<バイオメカニクス> 運動学 <スポーツ生理学> 運動と呼吸循環系/トレーニングと呼吸循環系
4 限	<バイオメカニクス> 運動の記述 <スポーツ生理学> エネルギー代謝と運動	<バイオメカニクス> 投射体の運動学 <スポーツ生理学> エネルギー代謝の基礎的情報
5 限	<バイオメカニクス> 運動の分析 <スポーツ生理学> エネルギー代謝と運動	<バイオメカニクス> 運動力学 <スポーツ生理学> 運動とエネルギー代謝
6 限	<バイオメカニクス> 運動の分析 <スポーツ生理学> エネルギー代謝と運動	<バイオメカニクス> ニュートンの運動法則 <スポーツ生理学> トレーニングとエネルギー代謝
7 限	<バイオメカニクス> 運動の分析 <スポーツ生理学> 骨格筋と運動	<バイオメカニクス> 力とトルク、その他の物理量 <スポーツ生理学> 骨格筋の形態と機能
8 限	<バイオメカニクス> スポーツ動作 <スポーツ生理学> 骨格筋と運動	<バイオメカニクス> 運動動作の考察 <スポーツ生理学> 筋力発揮のメカニズム
9 限	<バイオメカニクス> スポーツ動作 <スポーツ生理学> 神経系と運動	<バイオメカニクス> 運動動作の考察 <スポーツ生理学> 神経系に対するトレーニング効果
10 限	<バイオメカニクス> スポーツ動作 <スポーツ生理学> 内分泌系と運動	<バイオメカニクス> 運動動作の考察 <スポーツ生理学> 神経系に対するトレーニング効果
11 限	<バイオメカニクス> スポーツ動作 <スポーツ生理学> 神経系と運動	<バイオメカニクス> 運動動作の考察 <スポーツ生理学> 主な内分泌器官とホルモン
12 限	<バイオメカニクス> スポーツ動作 <スポーツ生理学> 神経系と運動	<バイオメカニクス> 運動動作の考察 <スポーツ生理学> 身体機能へのホルモンの作用
13 限	<バイオメカニクス> スポーツ動作 <スポーツ生理学> 神経系と運動	<バイオメカニクス> トレーニング動作の考察 <スポーツ生理学> 筋肥大におけるホルモンの役割 レジスタンストレーニングとホルモン分泌
14 限	振り返り	各項目の振り返り
15 限	期末考査	

# 授業計画表

スポーツ健康 **学科**

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ概論 I (1)	<b>教員名</b>	中井 大輔
<b>科目時間数</b> :	15	<b>限</b>	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
<b>必修・選択の別</b> :	<input checked="" type="radio"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> :	1
		<b>開講時期</b> :	前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  &lt;運動指導の科学&gt; 動作の成り立ちと動作習得の効率的な練習方法を学ぶ。                  &lt;測定データ解析&gt; 統計学の基礎知識と実際の測定データの加工を学ぶ。                  &lt;資格試験対策&gt; 試験範囲の振り返りと模擬試験の実施。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  &lt;運動指導の科学&gt; 神経系の発達や習得に影響を及ぼす因子を理科し、効果的な動作習得方法を理解する。                  &lt;測定データ解析&gt; 統計用語の理解と、表計算ソフト等を活用したデータ加工の実際を学ぶ。                  &lt;資格試験対策&gt; 過去試験の傾向と対策。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  &lt;運動指導の科学&gt; 対象にあった最も効率的な練習方法を構築できるようになる。                  &lt;測定データ解析&gt; 測定データから傾向や課題を見つけ、対象に適切にフィードバックをできるようになる。                  &lt;資格試験対策&gt; 資格試験の合格を目指す。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
生徒用	トレーニング指導者テキスト〔理論編〕 トレーニング指導者テキスト〔実技編〕	NPO法人 日本トレーニング指導者協会 編著	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<b>【内容】</b> トレーナーとしての勤務経験			

科目名	科目時間総数	教員名
スポーツ概論 I	15 限	中井 大輔
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	<運動指導の科学>	動作の成り立ち
2 限	<運動指導の科学>	神経系の発達
3 限	<運動指導の科学>	指導の対象
4 限	<運動指導の科学>	動作の習得
5 限	<運動指導の科学>	練習の方法と内容
6 限	<測定データの活用とフィードバックの実際>	データ活用の準備と特徴把握のための記述統計
7 限	<測定データの活用とフィードバックの実際>	得点化による評価法/データ間の関係性
8 限	<測定データの活用とフィードバックの実際>	仮設検定の基礎/フィードバック
9 限	<JATI資格試験対策>	第3章：バイオメカニクス振り返り
10 限	<JATI資格試験対策>	第4章：スポーツ生理学振り返り
11 限	<JATI資格試験対策>	第8章：運動指導の化学振り返り
12 限	<JATI資格試験対策>	実践編：測定データの活用とフィードバックの実際振り返り
13 限	<JATI資格試験対策>	全体振り返り振り返り・模擬試験
14 限	<JATI資格試験対策>	全体振り返り振り返り・模擬試験
15 限	期末考査	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		スポーツ概論 I		教員名		中軽米 敬太	
科目時間数:		30		限		授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別:		<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択		配当学年:		1 年次	
				開講時期:		<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          競技スポーツ・健康・フィットネス分野に対応できる基礎的な知識を身につけると共に、JATI-ATI取得を目的とする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          トレーニング指導者テキスト（大修館書店）を元に、理論編における運動生理学の知識の習得を目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>          人体の生理学的作用について理解する</p>							
		使用教材			出版社		
		トレーニング指導者テキスト（理論編）			大修館書店		
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>							
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験                      2. レポート                      3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席                      4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>							
<p><b>【備考】</b>          評価について：筆記試験の点数、出席率、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>							
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>							
<p><b>【内容】</b> トレーナーとしての勤務経験</p>							



科目名 スポーツ概論 I		科目時間総数 30 限	教員名 中軽米 敬太
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	体力学総論	体力について理解する。	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	運動指導の科学	運動動作と神経のかかわりについて理解する。	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	対象別指導	特別な対象のためのトレーニングのプログラムデザインについて理解する。	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	アスレティック・リハビリテーション	傷害の受傷から復帰にかけてのトレーニングのプログラムデザインについて理解する。	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	トレーニングの運営と情報活用	トレーニング施設の運営について理解する。	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	〃	〃	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> スポーツ概論 I	<b>教員名</b> 田村健登	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : 講義 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 演習 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 実習 <input type="checkbox"/>	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> : 1 年 <b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  対象や目的に応じた科学的根拠に基づく適切な身体運動のプログラムを作成し、これを効果的に指導・運営するための知識を技能を有する能力を身につける為に学習する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  トレーニング指導者が科学的根拠に基づいて活動する為のバックグラウンドとなる必要事項を学ぶ（体力学総論、機能解剖、バイオメカニクス、運動生理学、栄養学、心理学など）</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動や競技力向上に関する栄養の基礎知識や指導法について理解し実践することができる。</li> <li>・ 運動や競技選手への心理的サポートやモチベーションなど、指導者としての基礎知識を理解する。</li> <li>・ 救急処置法や傷害予防、生活習慣病予防への基礎知識を学び、実践することができる。</li> </ul>		
	使用教材	出版社
学生用	トレーニング指導者テキスト【理論編】	大修館書店
<p><b>【使用教室】</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                      5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他 <input type="checkbox"/> トレーニング室                 </p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験                      2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度                      5. 実技試験                      <input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 <input type="checkbox"/>                      小テスト                 </p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>1. 筆記試験は60点以上を合格とする</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p>		
<p><b>【内容】</b> トレーナーとしての勤務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ概論 I		30 限	田村健登
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置付けについて理解する	
2 限	運動と栄養	運動と栄養に関する基礎知識について学ぶ	
3 限	〃	目的に応じた食事の設定を行うことができる	
4 限	〃	運動と栄養に関する基礎知識について答えることができる	
5 限	〃	スポーツ選手の競技力向上と栄養について学ぶ	
6 限	〃	スポーツ選手の競技力向上と栄養について理解する	
7 限		スポーツ選手の食事計画や目的別の食事管理について計画することができる	
8 限	〃	スポーツ選手の競技力向上と栄養について答えることができる	
9 限	総理解 (前期中間テスト)	出題範囲P111～P121についてまで答えることができる	
10 限	〃	〃	
11 限	運動と栄養	健康増進と栄養について学ぶ	
12 限	〃	健康増進と栄養について理解する	
13 限	〃	健康増進と栄養について答えることができる	
14 限	総理解 (前期期末テスト)	P111～P137についてまで答えることができる	
15 限	〃	〃	
16 限	運動と心理	スポーツ選手への競技力向上への活用について学ぶ	
17 限	〃	スポーツ選手への競技力向上への活用について答えることができる	
18 限	〃	一般人の健康増進への活用について学ぶ	
19 限	〃	一般人の健康増進への活用について答えることができる	
20 限	〃	実際にカウンセリングシートを活用し、実践する	
21 限	総理解 (中間テスト)	P112～P162についてまで答えることができる	
22 限	〃	〃	
23 限	総理解 (模擬問題)	JATI試験に向けた問題を解く	
24 限	〃	JATI試験に向けた問題を解く	
25 限	〃	JATI試験に向けた問題を解く	
26 限	〃	JATI試験に向けた問題を解く	
27 限	総理解	試験を通して理解が不足していた部分について再度学ぶ	
28 限	〃	試験を通して理解が不足していた部分について再度学ぶ	
29 限	総理解 (後期末テスト)	JATIトレーニング指導者の実践について理解する	
30 限	〃	〃	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ概論 I	<b>教員名</b>	田村健登
<b>科目時間数</b> :	30	<b>限</b>	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> :	1 年
		<b>開講時期</b> :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b>                  対象や目的に応じた科学的根拠に基づく適切な身体運動のプログラムを作成し、これを効果的に指導・運営するための知識を技能を有する能力を身につける為に学習する。</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b>                  現場におけるトレーニング指導の実務をふまえ、トレーニング指導者の役割と具体的業務、トレーニングプログラムの作成法、各種トレーニング法の実技と指導法、測定・評価、トレーニングの運営、情報収集等に関する内容の習得を目指す。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トレーニング指導者の役割と具体的業務を説明できる。</li> <li>・ トレーニングプログラムの作成法各種トレーニング法の実技と指導法、測定・評価、トレーニングの運営について理解し、実践することができる。</li> </ul>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用	トレーニング指導者テキスト【実践編】	大修館書店	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                      5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他（ トレーニング室                 </p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験                      2. レポート                      <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席                      <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度                      5. 実技試験                      <input checked="" type="checkbox"/> 6. その他（                      小テスト                 </p>			
<p><b>【備考】</b></p> <p>1. 筆記試験は60点以上を合格とする</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p><b>【内容】</b> トレーナーとしての勤務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ概論 I		30 限	田村健登
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置付けについて理解する	
2 限	トレーニング指導者論	トレーニング指導者における役割について学ぶ	
3 限	〃	トレーニング指導者における役割について答えることができる	
4 限	各種トレーニング法の理論とプログラム	トレーニングの原理原則や計画について学ぶ	
5 限	〃	トレーニングの原理原則や計画・ピリオダイゼーションについて答えることができる	
6 限	〃	筋力トレーニングの効果・プログラム条件設定について理解する	
7 限	〃	筋力トレーニングの効果・プログラム条件設定について理解する	
8 限	〃	筋力トレーニングの効果・プログラム条件設定について答えることができる	
9 限	総理解 (前期中間テスト)	出題範囲P12～P36についてまで答えることができる	
10 限	〃	〃	
11 限	各種トレーニング法の理論とプログラム	パワー向上トレーニングの理論とプログラムについて学ぶ	
12 限	〃	パワー向上トレーニングの理論とプログラムについて答えることができる	
13 限	〃	筋力トレーニングの効果・プログラム条件設定に基づきトレーニング計画を作成することができる	
14 限	総理解 (前期期末テスト)	P12～P65についてまで答えることができる	
15 限	〃	〃	
16 限	各種トレーニング法の理論とプログラム	スピード向上トレーニングの理論とプログラムについて学ぶ	
17 限	〃	スピード向上トレーニングの理論とプログラムについて答えることができる	
18 限	〃	メタボリックシンドローム・糖尿病に対するトレーニングプログラムについて学ぶ	
19 限	〃	脂質異常症・高血圧症に対するトレーニングプログラムについて学ぶ	
20 限	〃	高齢者に対するトレーニングプログラムについて学ぶ	
21 限	〃	妊婦・子供に対するトレーニングプログラムについて学ぶ	
22 限	〃	特別な対象の為のトレーニングプログラムについて答えることができる	
23 限	総理解 (中間テスト)	P78～P112についてまで答えることができる	
24 限	〃	〃	
25 限	総理解 (模擬問題)	JATI試験に向けた問題を解くことができる	
26 限	〃	JATI試験に向けた問題を解くことができる	
27 限	総理解	試験を通して理解が不足していた部分について再度学ぶ	
28 限	〃	試験を通して理解が不足していた部分について再度学ぶ	
29 限	総理解 (後期末テスト)	JATIトレーニング指導者の実践について理解する	
30 限	〃	〃	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 スポーツ概論Ⅱ		教員名 中軽米 敬太 伊藤 優汰	
科目時間数： 45		限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別：	必修・選択	配当学年： 2年次	開講時期： 前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> NSCA-CPTもしくはフィットネスクラブマネジメント検定3級の取得を目指す中で、パーソナルトレーナー・フィットネスクラブスタッフに必要な知識の習得を目指す（受験資格は選択）。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> テキストを中心に資格受験対策をおこなう。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> パーソナルトレーナー・フィットネスクラブスタッフに必要とされる知識の習得 資格の取得</p>			
	使用教材	出版社	
	NSCA-CPTテキスト フィットネスクラブマネジメント検定 3級公式テキスト	NSCAジャパン クラブビジネスジャパン	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（                      ）</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他（ 資格試験結果 ）</p>			
<p><b>【備考】</b> 評価について：筆記試験の点数、出席率、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p>			
<p><b>【内容】</b> トレーナーとしての勤務経験（中軽米先生）</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ概論Ⅱ		45 限	中軽米 敬太 伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の概要・資格の受験について説明を行う。	
2 限	トレーナー概要	パーソナルトレーナーあるいはフィットネスクラブのスタッフに求められることについて学ぶ	
3 限	〃	〃	
4 限	運動学/フィットネス産業	運動学の基本を学ぶ/フィットネス産業の成り立ちや現状について学ぶ	
5 限	〃	〃	
6 限	栄養学/フィットネス産業	栄養指導の基本を学ぶ/フィットネス産業の成り立ちや現状について学ぶ	
7 限	〃	〃	
8 限	カウンセリング～評価/トレーナーの基礎	カウンセリングから最終的な評価までの流れを学ぶ/トレーナーに求められる解剖や生理学、生活習慣病について学ぶ	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	エクササイズ/フロント対応	指導内容別のエクササイズテクニックを習得する/フロント業務に必要な	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	プログラムデザイン/施設管理	プログラムの組み方について学ぶ/クラブ施設の管理について学ぶ	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	モチベーション/顧客マネジメント	クライアントへの声掛けなどを学ぶ/顧客への対応などを学ぶ	
23 限	〃	〃	
24 限	指導法/レッスンプログ	指導する際のテクニックを学ぶ/クラブ内のレッスンについて学ぶ	
25 限	〃	〃	
26 限	情報管理/チーム	クライアントのデータの取り扱いを学ぶ/組織としてのコミュニケーションなどについて学ぶ	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	法律/労働の基礎	トレーナーにかかわる法律について学ぶ/スタッフとしての勤務にかかわる労働法について学ぶ	
30 限	〃	〃	

限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
31 限	資格対策	資格受験に向けた対策を行う
32 限	〃	〃
33 限	〃	〃
34 限	〃	〃
35 限	〃	〃
36 限	〃	〃
37 限	〃	〃
38 限	〃	〃
39 限	〃	〃
40 限	〃	〃
41 限	業界研究	各種業界の現状について理解し、今後の展望について考える
42 限	〃	〃
43 限	〃	〃
44 限	〃	〃
45 限	まとめ	振り返りを行う



# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 専門科目演習 I	<b>教員名</b> 山本 梨奈		
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ (演習) ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> : (必修)・選択	<b>配当学年</b> : 1年次	<b>開講時期</b> : (前期・後期・集中)	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 基礎的な解剖学的知識とテーピングの技術を習得する</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 解剖学的視点とテーピングの技術を習得する</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 整形外科的疾患患者へのテーピングの使い分けができる</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
	トレーニング指導者テキスト（理論編） 予防とコンディショニング	大修館書店 公益財団法人 日本体育協会	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (スタジオ)</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. (筆記試験)                      2. レポート                      3. (出席)                      4. (授業態度) 5. 実技試験                      6. その他 ( )</p>			
<p><b>【備考】</b> 評価について：実技試験の点数、出席率、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無 <b>【内容】</b> 整形外科でのトレーナーとしての勤務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
専門科目演習 I		30 限	山本 梨奈
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の概要について説明	
2 限	解剖学	上肢の骨・関節について理解する	
3 限	〃	体幹部の骨・関節について理解する	
4 限	〃	下肢の骨・関節について理解する	
5 限	〃	上肢の筋肉について理解する	
6 限	〃	体幹部の筋肉について理解する	
7 限	〃	下肢の筋肉について理解する	
8 限	確認	理解度を小テストにて確認する	
9 限	テーピング	テーピングの基礎を学ぶ	
10 限	(傷害別)	足関節のテーピングについて学ぶ	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	膝関節のテーピングについて学ぶ	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	胸部のテーピングについて学ぶ	
17 限	〃	〃	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	ひじ関節のテーピングについて学ぶ	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	練習	確認として行う実技テストに向けた練習を行う	
23 限	〃	〃	
24 限	ケース練習	傷害の推測としてのテスト方法と対応について学ぶ	
25 限	〃	〃	
26 限	実技試験	受傷起点から傷害を推測し、テーピングの処置までの流れを試験として実施する	
27 限	〃	〃	
28 限	練習	試験結果から苦手傾向にある部位や巻き方について、練習をおこなう	
29 限	〃	〃	
30 限	まとめ	振り返りを行う	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 専門科目演習 I	<b>教員名</b> いわてグルージャ盛岡	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b> 「コーチング」の言葉を理解し、指導者に必要な資質について考える機会とする。</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> アカデミーコーチを中心に、コーチングテクニックについて講義を行う。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b> 適切な声かけや指導法ができる。</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>		
<p><b>【備考】</b></p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/></p> <p><b>【内 容】</b> Jリーグチームを中心としたジュニアサッカーの指導経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
専門科目演習 I		30 限	いわてグルージャ盛岡
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	コーチング哲学を考える鍵	指導者の役割（サッカーを中心に）	
2 限	〃	競技スポーツにおける勝利学のすすめ	
3 限	〃	コーチに大切なものとは	
4 限	〃	コーチが持つべきポイント	
5 限	〃	コーチからみて必要なこと	
6 限	コーチングの指針	指導スタイルの変化	
7 限	〃	マネージメントの重要性	
8 限	〃	競技スポーツに向き合うために必要なこと	
9 限	〃	グルージャ盛岡としての指導と方針	
10 限	コーチングの方法	プロセスの構築	
11 限	〃	トップアスリートを育てるために	
12 限	〃	コミュニケーションスキル	
13 限	練習の大切さ	練習の構成	
14 限	〃	練習の構成（ゲームを組み立てる）	
15 限	〃	逆算して立てるメニュー	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	スカウティング情報をもとに練習を組み立てる	
18 限	〃	情報戦略	
19 限	科学と情報	向上のための科学的アプローチ	
20 限	〃	トータルサポートシステムをより機能的にするために	
21 限	〃	私的テクニカル論（グルージャから考える）	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	強化するために必要なこと	
24 限	〃	実践に見るテクニカルの役割	
25 限	〃	グルージャ盛岡としての方針	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	実際に考えるコーチの役割	
28 限	〃	スタッフ創出の図式	
29 限	〃	まとめ	
30 限	〃	〃	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	専門科目演習Ⅱ	<b>教員名</b>	田村 健登
<b>科目時間数</b> :	30	<b>限</b>	
<b>授業の種類</b> :	講義 ・ 演習 ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> :	<input type="radio"/> 必修・選択	<b>配当学年</b> :	2年
		<b>開講時期</b> :	前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  トレーニング指導者として実際の業務を演習し、デモンストレーション能力やプログラム作成、測定と評価などを実施することができる能力を身につける。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  トレーニング指導者として知識や理論を理解した上で、エクササイズの練度を高め、ロールプレイ、ブループレデモンストレーションなどを通して、トレーニング指導者としての技術や業務の習得を目指す。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者として基本的エクササイズのデモンストレーションを実施することができる。</li> <li>・プログラム計画やピリオダイゼーションを作成することができる</li> <li>・測定と評価について実施し、フィードバックを経てトレーニングを進めることができる。</li> </ul>			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（トレーニング室・スタジオ）			
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他（                      ）			
<b>【備考】</b>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> フィットネスクラブでの勤務・トレーナーとしての活動			

科目名		科目時間総数	教員名
専門科目演習Ⅱ		30 限	田村健登
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置付けについて理解する	
2 限	トレーニング演習	測定と評価について実施し、トレーニング目標を立案することができる	
3 限	〃	トレーニング目標を達成する為の計画やピリオダイゼーションを作成することができる	
4 限	〃	マシンエクササイズの正しいデモンストレーション・指導法を学び、理解する	
5 限	〃	パートナーストレッチについて学び、理解する	
6 限	〃	パートナーストレッチについて実施することができる	
7 限	総合演習（前期中間テスト）	マシンエクササイズの正しいデモンストレーション・指導法を理解し実施することができる	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	クライアントとのカウンセリングについて学び、実施することができる	
10 限	〃	クライアントのスタティックアライメントについて学び、実施することができる	
11 限	〃	クライアントのダイナミックアライメントについて学び、実施することができる	
12 限	〃	オリンピックリフティングについて学び、理解する	
13 限	〃	オリンピックリフティングについてエクササイズを実施することができる	
14 限	総合演習（前期末テスト）	ビッグ3のデモンストレーション（指定された負荷）を実施することができる	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	トレーニング目標を達成する為の計画やピリオダイゼーションを再考し、プログラム変数を操作することができる	
17 限	〃	フリーウェイトトレーニングの正しいデモンストレーション・指導法を学び、理解する	
18 限	〃	フリーウェイトトレーニングの正しいデモンストレーションを実施できるようになる	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	総合演習（後期中間テスト）	フリーウェイトトレーニングの正しいデモンストレーション・指導法を理解し実施することができる	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	総合演習（後期末テスト）	ビッグ3のデモンストレーション（指定された負荷）を実施することができる	
30 限	〃	〃	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> スポーツ経営学 I	<b>教員名</b> 鳴尾 直軌		
<b>科目時間数</b> : 15	<b>限</b> <b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 集中		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> スポーツビジネスの特徴を理解してもらい、一般的なマネジメントのスポーツ分野への応用の仕方ができるようになる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ・スポーツ経営とは何かを学ぶ。 ・知識を深めた上で、地域における企業スポーツの運営や、スポーツと地域密着の関係性や課題を明らかにする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> ・企業スポーツの運営の仕組み、地域密着の必要性、どのようなクラブ運営を行えばよいかを考え、理解する。</p>			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
<b>【内 容】</b> Jリーグチームでの監督、岩手県サッカー協会での勤務			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ経営学 I		15 限	鳴尾 直軌
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	授業の目的、概要を理解する。	
2 限	スポーツ経営学とは	Jリーグの事例、スポーツ経営学の対象	
3 限	スポーツ組織の経営戦略	Jリーグにおける経営戦略とは	
4 限	スポーツマーケティング	Jリーグのスポーツマーケティングとは	
5 限	スポーツ組織論	スポーツ組織の組織論的アプローチ	
6 限	スポーツ経営におけるリーダーシップ	スポーツ経営におけるリーダーシップとは	
7 限	キャリアマネジメント	スポーツ経営におけるキャリアとは	
8 限	スポーツ経営における国際化	Jリーグの国際経営について	
9 限	スポーツ経営における多様化	Jリーグにおける多様化とは	
10 限	スポーツ経営における企業家精神	企業家精神とは	
11 限	スポーツ経営におけるイノベーション	Jリーグにおけるイノベーションとは	
12 限	スポーツNPOマネジメント	NPOとは、スポーツNPOのマネジメントとは	
13 限	プロ野球のマネジメント	日本プロ野球の発展と読売巨人軍の発展について	
14 限	Jリーグのマネジメント	Jリーグの成立と発展について	
15 限	スポーツイベントのマネジメント	オリンピックの商業化のプロセス	



# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ経営学Ⅱ	<b>教員名</b>	鳴尾 直軌
<b>科目時間数</b> :	15	<b>限</b>	<b>授業の種類</b> :
<b>必修・選択の別</b> :	<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択	<b>配当学年</b> :	2年
		<b>開講時期</b> :	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  スポーツビジネスの特徴を理解してもらい、一般的なマネジメントのスポーツ分野への応用の仕方ができるようになる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  ・スポーツ経営とは何かを学ぶ。                  ・知識を深めた上で、地域における企業スポーツの運営や、スポーツと地域密着の関係性や課題を明らかにする。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  ・企業スポーツの運営の仕組み、地域密着の必要性、どのようなクラブ運営を行えばよいかを考え、理解する。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="radio"/> 3. 出席	<input checked="" type="radio"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b>			
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無			
<b>【内容】</b> Jリーグチームでの監督、岩手県サッカー協会での勤務			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ経営学Ⅱ		15 限	鳴尾 直軌
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	授業の目的、概要を理解する。	
2 限	スポーツ経営学とは	Jリーグの事例、スポーツ経営学の対象	
3 限	スポーツ組織の経営戦略	Jリーグにおける経営戦略とは	
4 限	スポーツマーケティング	Jリーグのスポーツマーケティングとは	
5 限	スポーツ組織論	スポーツ組織の組織論的アプローチ	
6 限	スポーツ経営におけるリーダーシップ	スポーツ経営におけるリーダーシップとは	
7 限	キャリアマネジメント	スポーツ経営におけるキャリアとは	
8 限	スポーツ経営における国際化	Jリーグの国際経営について	
9 限	スポーツ経営における多様化	Jリーグにおける多様化とは	
10 限	スポーツ経営における企業家精神	企業家精神とは	
11 限	スポーツ経営におけるイノベーション	Jリーグにおけるイノベーションとは	
12 限	スポーツNPOマネジメント	NPOとは、スポーツNPOのマネジメントとは	
13 限	プロ野球のマネジメント	日本プロ野球の発展と読売巨人軍の発展について	
14 限	Jリーグのマネジメント	Jリーグの成立と発展について	
15 限	スポーツイベントのマネジメント	オリンピックの商業化のプロセス	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ実技 I (ダンス)	<b>教員名</b>	高橋 裕貴子
<b>科目時間数:</b>	30	<b>限</b>	<b>授業の種類:</b> 講義 ・ 演習 ・ <b>実習</b>
<b>必修・選択の別:</b>	<b>必修</b> 選択	<b>配当学年:</b>	1年 <b>開講時期:</b> <b>前期・後期</b> ・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>          エアロビックダンスに特化し、リズムに合わせて踊ったり、仲間と協力して創作し発表し達成感を味わうことができるようにする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>          エアロビックダンスのステップを習得し、それらのステップを生かしてダンスを創作する。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>  <input type="checkbox"/> エアロビックダンスのステップ名を覚え、動くことができる。  <input type="checkbox"/> 覚えたステップを組み合わせて、曲に合わせて創作することができる。  <input type="checkbox"/> 創作したダンスを発表し、達成感を味わうことができる。  <input type="checkbox"/> 協力して創作した仲間を評価し、賞賛することができる。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
	CDラジカセ		
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. <b>その他</b> (スタジオ)	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	<b>3. 出席</b>	<b>4. 授業態度</b>
<b>5. 実技試験</b>	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>			
<b>【内容】</b> フィットネスクラブを中心としたインストラクターとしての活動			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実技 I		30 限	高橋 裕貴子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	◇1年を通して行われる授業内容を理解する	
2 限	エアロビックダンスを知る	●ステップ名を覚え、動作を習得する	
3 限	〃	◎ステップ名を覚えて踊ることが出来る	
4 限	〃	●習得したステップを組み合わせて踊る	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	◎スムーズに動けるステップを組み合わせて踊ることが出来る	
7 限	実践する	◇1曲に振り付けられたダンスを覚え発表する	
8 限	〃	●振り付けを覚える	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	◎振り付けを覚えて正しく踊る事が出来る	
12 限	〃	●隊形を考える	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	●発表をする	
16 限	〃	◎仲間と協力し隊形を考え自分の位置を把握し踊ることが出来る	
17 限	深める	◇創作する	
18 限	〃	●選曲し、曲のイメージに合った振り付けを考える	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃 ◎積極的にアイディアを出し、振り付けを考える事が出来る	
24 限	〃	●人数の特性を生かしたフォーメーションを考える	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	●中間発表する ◎各チームの工夫しているところを理解出来る	
30 限	〃	●他のチームのアドバイスを参考に完成度を上げていく	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> スポーツ実技 I	<b>教員名</b> 横川 俊樹	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ <u>演習</u> ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・ 集中	
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b> 各種スポーツを実施し、競技への理解を深める。</p> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b> 体育館でスポーツ実技を行う。</p> <p><b>〔授業における達成課題〕</b> 各種スポーツを実施できる。</p>		
	使用教材	出版社
<b>【使用教室】</b>		
1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室 <u>7. その他</u> ( 体育館、スタジオ )		
<b>【評価方法】</b>		
1. 筆記試験                      2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u> 5. 実技試験 <u>6. その他</u> ( ルーブリック評価 )		
<b>【備考】</b>		
評価について：出席率及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <u>無</u>		
<b>【内容】</b>		

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実技 I		15 限	横川 俊樹
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業を行うにあたっての注意等を理解する	
2 限	スポーツ実技	体育館でスポーツを実施する（バスケットボール）	
3 限	〃	〃（バレーボール）	
4 限	〃	〃（バドミントン）	
5 限	〃	〃（フットサル）	
6 限	〃	〃（卓球）	
7 限	〃	〃（タグラグビー）	
8 限	〃	〃（バスケットボール）	
9 限	〃	〃（バレーボール）	
10 限	〃	〃（バドミントン）	
11 限	〃	〃（フットサル）	
12 限	〃	〃（卓球）	
13 限	〃	〃（タグラグビー）	
14 限	〃	〃（ニュースポーツ）	
15 限	まとめ	振り返りを行う。	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ実技Ⅱ (ダンス)	<b>教員名</b>	高橋 裕貴子
<b>科目時間数</b> :	30	限 <b>授業の種類</b> :	講義 ・ 演習 ・ <b>実習</b>
<b>必修・選択の別</b> :	<b>必修</b> 選択	<b>配当学年</b> :	2年
		<b>開講時期</b> :	<b>前期・後期・集中</b>
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  日本フィットネス協会のGFI、AD資格取得を目指し、課題をひとつひとつ理解するとともに、実践できるようにする。フィットネスインストラクターの仕事を理解する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  ○エアロビクス中級(ADBI) 試験内容(4つの動きの実践能力と指導能力)を理解した上で、実践練習する                  ○エアロビクス上級(ADI) 試験内容(課題に沿ったプログラム作成とその指導)うい理解し実践練習する</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  ○GFI ADの試験内容を理解する。                  ○レッグカール、グループバイン、ニールト、ステップタッチの正しい動きが出来る。                  ○タイミングよくキューイングがさせて指導が出来る。                  ○課題に沿ったプログラム作成と実践が出来る。</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
学生用	GFIのためのフィットネス基礎理論  GFIのためのグループエクササイズ指導理論  ADBI ADIのためのエアロビックダンスエクササイズ指導理論	公益社団法人  日本フィットネス協会	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. <b>その他</b>	スタジオ
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. <b>出席</b>	4. <b>授業態度</b>
5. <b>実技試験</b>	6. その他 ( )		
<b>【備考】</b>			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b>			
		有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>
<b>【内 容】</b> フィットネスクラブを中心としたインストラクターとしての活動			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実技Ⅱ		30 限	高橋 裕貴子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	エアロビックダンスを深める	◇創作をする(一年時の続き)	
2 限		●選曲し、曲のイメージに合った振り付けを考える	
3 限	〃	●フォーメーションを考えて踊る	
4 限	〃	◎仲間と協力し主体的に取り組む事が出来る	
5 限	指導する	●GFIのエアロビクス中級レベルの試験内容を知る	
6 限	〃	●レッグカール、グレイプハイ、ニーリフト、ステップタッチの正しい動きを習得する	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	●キューイングの手法を学ぶ	
9 限	〃	●動きながらキューイングをタイミングよく出す手法を学ぶ	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	◎キューイングの手法を理解し実践することが出来る	
13 限	〃	●試験へ向けてのリハーサル ◎試験内容を理解し準備が出来る	
14 限	〃	●GFIのエアロビクス上級レベルの試験内容を知る	
15 限	〃	●2分30秒のプログラム作成をする	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	◎課題に沿ったプログラムが作成できる	
20 限	〃	●個々にキューイングしながら作成したプログラムを指導する	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	◎課題に沿ったプログラムが指導できる	
24 限	〃	●グループでレッスン方式で指導練習をする	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	◎参加者を意識した指導が出来る	
28 限	〃	●試験へ向けてのリハーサル ◎試験内容を理解し準備が出来る	
29 限	〃	●ひとりずつリードをしてエアロビクスのレッスンをする	
30 限	〃	◎インストラクションがスムーズに出来る	



## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ実技Ⅱ	<b>教員名</b>	横川 俊樹
<b>科目時間数</b> ：	15	限	<b>授業の種類</b> ：
<b>必修・選択の別</b> ：	(必修)・選択	<b>配当学年</b> ：	2年
		<b>開講時期</b> ：	前期・後期・集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  走る・跳ぶ・投げる動作をこどもから一般を対象に指導できる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  陸上競技を中心とした運動動作を実施する</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                  ・運動の基本動作を実施・説明・指導できる</p>			
	使用教材		出版社
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 (サンライフ盛岡・MCLスタジオ)	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験		6. その他 ( )	
<b>【備考】</b>			
評価について：出席率、授業態度、及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ (無)			
<b>【内容】</b>			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ実技Ⅱ		15 限	横川 俊樹
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	歩行動作	歩行にかかわる身体重心の移動の基本を習得していく	
2 限	ジョグ	ジョグ動作のフォームの確認	
3 限	スプリント	スプリント走のフォーム確認	
4 限	測定	走動作の速度変化を測定・分析を行う	
5 限	〃	〃	
6 限	跳動作	跳躍動作の基本を習得する	
7 限		垂直方向への跳躍動作を習得する	
8 限		水平方向への跳躍動作を習得する	
9 限	測定	跳躍動作の測定・分析を行う	
10 限	〃	〃	
11 限	投てき動作	投擲動作の習得	
12 限	投てき動作	遠投（野球・ハンドボール）	
13 限	測定	投擲動作の測定・分析を行う	
14 限	〃	〃	
15 限	まとめ	振り返りを行う	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> ストレngth&コンディショニング I	<b>教員名</b> 君塚 豪	
<b>科目時間数</b> : 30 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	<b>配当学年</b> : 2年	
<b>開講時期</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中		
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 基本的な各種トレーニング法の実施や補助および指導ができるようになる。		
<b>【授業全体の内容の概要】</b> JATIトレーニング指導者テキスト（実践編）を元に、①筋力トレーニング ②パワー向上トレーニング ③持久力向上トレーニング ④スピード向上トレーニング ⑤柔軟性向上トレーニング 以上5つの領域のエクササイズテクニックについて理解する。自ら実践することができるようになる。		
<b>【授業における達成課題】</b> ①筋力トレーニング ②パワー向上トレーニング ③持久力向上トレーニング ④スピード向上トレーニング ⑤柔軟性向上トレーニング 以上5つの領域のエクササイズを正しく実施することができ、基礎的なインストラクション及び指導ができるようになる。		
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>
	JATIトレーニング指導者テキスト（実践編）	大修館書店
<b>【使用教室】</b> ①. HR                      ②. 介護実習室                      ③. 家政実習室                      ④. 視聴覚室 ⑤. PC実習室                      ⑥. 接遇実習室                      ⑦. その他 (トレーニング室)		
<b>【評価方法】</b> ①. 筆記試験                      ②. レポート                      ③. 出席                      ④. 授業態度 ⑤. 実技試験                      ⑥. その他 (                      )		
<b>【備考】</b> 評価について：出席率、授業態度、及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。		
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
<b>【内容】</b> トレーニング施設での勤務経験		

科目名		科目時間総数	教員名
ストレンクス&コンディショニングI		30 限	君塚 豪
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	トレーニングの実際	トレーニングの実施にあたっての基本や注意事項について理解する。	
2 限	//	//	
3 限	筋力トレーニングの実際	基礎的なレジスタンスエクササイズ（上肢,下肢,体幹）を実践し、理解する	
4 限	//	//	
5 限	//	//	
6 限	//	//	
7 限	//	//	
8 限	まとめ	これまで学んだ事項について復習する	
9 限	パワー向上のトレーニングの実際	プライオメトリクスについて実践し、理解する	
10 限	//	//	
11 限	//	クイックリフト種目について実践し、理解する	
12 限	//	//	
13 限	スピード向上のトレーニングの実際	スピード向上のトレーニングについて実践し、理解する	
14 限	//	//	
15 限	//	//	
16 回	//	//	
17 回	持久力向上のトレーニングの実際	スピード向上のトレーニングについて実践し、理解する	
18 回	//	//	
19 回	//	//	
20 回	柔軟性向上のトレーニングの実際	柔軟性向上のトレーニングについて実践し、理解する	
21 回	//	//	
22 回	//	//	
23 回	JATI試験対策	これまで学んだ知識を体系化し、資格試験に向けた準備を行う	
24 回	//	//	
25 回	//	//	
26 回	エクササイズのインストラクション	これまで学んだエクササイズの指導方法を実践する	
27 回	//	//	
28 回	//	//	
29 回	//	//	
30 回	まとめ	これまで学んだ事項について復習する	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ストレングス&コンディショニングII		教員名 君塚 豪	
科目時間数： 30 限		授業の種類： <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： <input checked="" type="radio"/> 必修・選択	配当学年： 2年	開講時期： <input checked="" type="radio"/> 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 健康増進及びスポーツ外傷・障害に関する知識を学び、合目的な運動処方・インストラクションを実践するための基礎を習得する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ・健康増進に関する知識や、スポーツ外傷・障害の予防に関する基礎知識の習得 ・健康増進、スポーツ外傷・障害の予防のための基礎的なエクササイズを学び、実践力・指導力を磨く</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> ・健康増進に関する知識や、スポーツ外傷・障害の予防に関する基礎知識を習得する ・健康増進、スポーツ外傷・障害の予防のための基礎的なエクササイズを適切に実践でき、それらを指導対象者へインストラクションできるようになる</p>			
	使用教材	出版社	
	JATIトレーニング指導者テキスト（実践編） NSCA決定版ストレングス&コンディショニング	大修館書店 特定非営利活動法人NSCAジャパン	
<p><b>【使用教室】</b>  <input checked="" type="radio"/> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室                      5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <input checked="" type="radio"/> 7. その他（<input checked="" type="radio"/> トレーニング室）</p>			
<p><b>【評価方法】</b>  <input checked="" type="radio"/> 1. 筆記試験                      <input checked="" type="radio"/> 2. レポート                      <input checked="" type="radio"/> 3. 出席                      <input checked="" type="radio"/> 4. 授業態度  <input checked="" type="radio"/> 5. 実技試験                      6. その他（                      ）</p>			
<p><b>【備考】</b> 評価について：出席率、授業態度、及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無</p>			
<p><b>【内容】</b> トレーニング施設での勤務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
ストレンクス&コンディショニングⅡ		30 限	君塚 豪
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	生活習慣病と運動処方	イントロダクション、生活習慣病に関する概論	
2 限	〃	メタボリックシンドローム、肥満	
3 限	〃	高血圧、脂質異常症	
4 限	〃	糖尿病、虚血性心疾患	
5 限	〃	ロコモティブシンドローム、呼吸器系疾患	
6 限	スポーツ外傷・障害予防	姿勢・動作の評価と運動処方	
7 限	〃	スポーツ外傷・障害各論（体幹）	
8 限	〃	スポーツ外傷・障害各論（下肢）	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	スポーツ外傷・障害各論（上肢）	
11 限	〃	〃	
12 限	小テスト	小テストを実施し、これまで学んだ知識の定着度を計る	
13 限	まとめ	これまでの復習を行う	
14 限	ケーススタディとプログラムデザイン	具体的な競技選手別のトレーニングプログラム作成について基礎を学	
15 限	〃	陸上競技・長距離（パフォーマンス向上）	
16 回	〃	陸上競技・長距離（ケガをしにくい体づくり）	
17 回	〃	陸上競技・短距離（パフォーマンス向上）	
18 回	〃	陸上競技・短距離（ケガをしにくい体づくり）	
19 回	〃	サッカー（パフォーマンス向上）	
20 回	〃	サッカー（ケガをしにくい体づくり）	
21 回	〃	バスケットボール（パフォーマンス向上）	
22 回	〃	バスケットボール（ケガをしにくい体づくり）	
23 回	〃	野球・ソフトボール（パフォーマンス向上）	
24 回	〃	野球・ソフトボール（ケガをしにくい体づくり）	
25 回	〃	ラケットスポーツ（パフォーマンス向上）	
26 回	〃	ラケットスポーツ（ケガをしにくい体づくり）	
27 回	模擬トレーニングセッション	プログラム作成からインストラクションまでを一貫して実践する	
28 回	〃	〃	
29 回	〃	〃	
30 回	まとめ	これまでの復習を行う	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> レクリエーション I	<b>教員名</b> 横川 俊樹	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> さまざまなスポーツを知り、幅広い年代への指導につなげる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 球技を中心に、ニュースポーツを入れながら幅広い知識を学ぶ</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 運動を通じて交流を図る 地域活動の指導に自信もってあたることのできる</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 ( 体育館、スタジオ )</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 ( ルーブリック評価 )</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名 レクリエーション I		科目時間総数 15 限	教員名 横川 俊樹
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業を行うにあたっての注意等を理解する	
2 限	スポーツレクリエーション	体育館等でスポーツを実施する	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	野外レクリエーション	野外でのレクリエーション活動を行う	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	ニュースポーツレクリエーション	体育館等でニュースポーツを行う	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	まとめ	振り返りを行う。	



## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> レクリエーションⅡ	<b>教員名</b> 横川 俊樹	
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="radio"/> 必修・選択	<b>担当学年</b> ： 2年 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> さまざまなスポーツを知り、幅広い年代への指導につなげる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 球技を中心に、ニュースポーツを入れながら幅広い知識を学ぶ</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 運動を通じて交流を図る 地域活動の指導に自信もってあたることのできる</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他（ 体育館、スタジオ</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他（ ルーブリック評価 ）</p>		
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：出席率及び授業態度の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名 レクリエーションⅡ		科目時間総数 15 限	教員名 横川 俊樹
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業を行うにあたっての注意等を理解する	
2 限	スポーツレクリエーション	体育館等でスポーツを実施する	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	野外レクリエーション	野外でのレクリエーション活動を行う	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	ニュースポーツレクリエーション	体育館等でニュースポーツを行う	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	まとめ	振り返りを行う。	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> 卒業研究	<b>教員名</b> 伊藤 優汰		
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 2年次		
<b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ 集中			
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 2年間の集大成として研究・調査などを行い卒業論文としてまとめる</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 卒業論文を作成し発表する</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 卒業論文作成・提出及び成果発表会にて発表を行う</p>			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 (            )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 ( 研究報告内容 )		
<b>【備考】</b>			
評価について：筆記試験の点数、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<b>【内容】</b>			

科目名 卒業研究		科目時間総数 15 限	教員名 伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	テーマ設定	研究として取り組むテーマを設定する。	
2 限	研究	設定したテーマについて研究を行う。	
3 限		〃	
4 限		〃	
5 限		〃	
6 限		〃	
7 限	準備	発表に向けた準備を行う。	
8 限		〃	
9 限		〃	
10 限		〃	
11 限		〃	
12 限		〃	
13 限		〃	
14 限		〃	
15 限	発表	発表を行う。	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 オリエンテーション		教員名 浜端 郁子	
科目時間数： 7		限 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の 別： <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択	配当学年：1年次	開講時期： 前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="radio"/> 集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 2年間の学校生活を送る上での必要・注意事項について理解する。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 学則・学科目標についての説明 適正検査の実施</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 学則や学科目標について理解する 学校及び学科の理解を深める</p>			
	使用教材	出版社	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. <input checked="" type="radio"/> 出席                      4. <input checked="" type="radio"/> 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>			
<p><b>【備 考】</b> 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p>			
<p><b>【内容】</b></p>			

科目名 オリエンテーション		科目時間総数 7 限	教員名 浜端 郁子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	学校生活について	学則や授業にかかわる説明を行う。	
2 限	〃	〃	
3 限	目標設定	個人およびクラス内の目標を設定する。	
4 限	役割決め	クラス内での役割分担をきめる	
5 限	適正検査	適正検査を実施する。	
6 限	クラス交流	自己紹介など、クラス内での交流を行う	
7 限	目標設定	個人およびクラス内の目標を設定する。	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	プロスポーツ スタッフ実習 I	教員名	浜端 郁子
科目時間数：	25 限	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択 の 別：	<u>必修</u> ・選択	配当学年：	1 年次
		開講時期：	前期・後期・ <u>集中</u>
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 地元・岩手のプロスポーツに関わり、集客の仕方、スタッフの動きなどを学ぶ			
<b>【授業全体の内容の概要】</b> プロスポーツ（いわてグルージャ盛岡・岩手ビッグブルズ）試合において、スタッフとして準備～撤収、各部署で実習を行う			
<b>【授業における達成課題】</b> 集客の仕方、スタッフとしての動きを習得する			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b> 1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室 <u>7. その他</u> （各試合会場）			
<b>【評価方法】</b> 1. 筆記試験                      2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u> 5. 実技試験 <u>6. その他</u> （ルーブリック評価）			
<b>【備考】</b> 評価について：筆記試験の点数、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <u>無</u>			
<b>【内容】</b>			

科目名 プロスポーツスタッフ実習		科目時間総数 25 限	教員名 浜端 郁子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の目的・目標について理解する	
2 限	実習	各ホームゲーム日に活動を行う。	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	振り返り	活動の振り返り・評価を行う。	



## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> プロスポーツ スタッフ実習Ⅱ	<b>教員名</b> 伊藤 優汰		
<b>科目時間数</b> ： 25	限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
<b>必修・選択の別</b> ： <u>必修</u> ・選択	<b>配当学年</b> ： 2年次	<b>開講時期</b> ： 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 地元岩手のプロスポーツに関わり、集客の仕方、スタッフの動きなどを学ぶ</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> プロスポーツ（いわてグルージャ盛岡・岩手ビッグブルズ）試合において、スタッフとして準備～撤収、各部署で実習を行う</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 集客の仕方、スタッフとしての動きを習得する 試合にてイベント（集客のひとつとして）企画から実施までおこなう</p>			
	使用教材	出版社	
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      <u>7. その他（各試合会場）</u></p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      <u>3. 出席</u>                      <u>4. 授業態度</u></p> <p>5. 実技試験                      <u>6. その他（ルーブリック評価）</u></p>			
<p><b>【備考】</b> 評価について：筆記試験の点数、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <u>無</u></p>			
<p><b>【内容】</b></p>			

科目名 プロスポーツスタッフ実習Ⅱ		科目時間総数 25 限	教員名 伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	オリエンテーション	授業の目的・目標について理解する	
2 限	実習	各ホームゲーム日に活動を行う。	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	振り返り	稼働の振り返り・評価を行う。	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> インターン実習 I	<b>教員名</b> 浜端 郁子	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> ・スポーツ業界の現場を体験し、学校生活での学習のアウトプットを行うと同時に、職業理解と適性を知る機会とする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ・各種スポーツ団体・企業・イベントでの業務を行う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> ・目指す職業への課題と適性を見つける。</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (各スポーツ団体及び企業)</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験                      6. その他 (ループリック評価)</p>		
<p><b>【備考】</b> 評価について：出席率及び授業態度を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b></p>		

科目名	科目時間総数	教員名
インターン実習 I	15 限	浜端 郁子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	オリエンテーション	授業の目的について理解する
2 限	実習	各スポーツ団体や企業、イベントでの活動を行う。
3 限	〃	〃
4 限	〃	〃
5 限	〃	〃
6 限	〃	〃
7 限	〃	〃
8 限	〃	〃
9 限	〃	〃
10 限	〃	〃
11 限	〃	〃
12 限	〃	〃
13 限	〃	〃
14 限	〃	〃
15 限	振り返り	活動の振り返りを行う。

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> インターン実習Ⅱ	<b>教員名</b> 伊藤 優汰	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修・選択	<b>配当学年</b> : 2年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> ・スポーツ業界の現場を体験し、学校生活での学習のアウトプットを行うと同時に、職業理解と適性を知る機会とする。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> ・各種スポーツ団体・企業・イベントでの業務を行う。</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> ・目指す職業への課題と適性を見つける。</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b>          1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室          5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (各スポーツ団体及び企業)</p>		
<p><b>【評価方法】</b>          1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度          5. 実技試験                      6. その他 (ルーブリック評価)</p>		
<p><b>【備考】</b>          評価について：出席率及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p>		
<p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
インターン実習Ⅱ		15 限	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の目的について理解する	
2 限	実習	各スポーツ団体や企業、イベントでの活動を行う。	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	振り返り	活動の振り返りを行う。	

# 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b>	スポーツ指導者 資格対策講座	<b>教員名</b>	伊藤 優汰
<b>科目時間数:</b>	30 限	<b>授業の種類:</b>	講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別:</b>	<input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年:</b>	2年
		<b>開講時期:</b>	前期 ・ 後期 ・ <input checked="" type="radio"/> 集中
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  スポーツ指導者に必要な知識を習得し、指導に活用することができる。</p>			
<p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  テキストを通じ、トレーニング知識やコミュニケーションスキル、緊急時の対応方法を理解する</p>			
<p><b>【授業における達成課題】</b>                  正しい知識で、自信をもって指導にあたることことができる</p>			
	<b>使用教材</b>	<b>出版社</b>	
	スポーツリーダー兼スポーツ少年団認定員養成テキスト	公益財団法人日本体育協会	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (                      )			
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )			
<b>【備考】</b>			
評価について：出席率及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無			
<b>【内容】</b>			

科目名		科目時間総数	教員名
スポーツ指導者資格対策講座		30 限	伊藤 優汰
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	スポーツ少年団の理念とその意義	スポーツ少年団の理念と意義、これからのスポーツ少年団	
2 限	スポーツ少年団の組織と運営	スポーツ少年団の組織、運営、活動の分野	
3 限	運動適正テスト	「運動適性テスト」実施の意義と活用、実施方法、その他の体力テスト	
4 限	指導者の役割 I	スポーツ指導者とは	
5 限		スポーツ指導者の倫理	
6 限		指導者の心構え・視点	
7 限		世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割	
8 限	文化としてのスポーツ	スポーツの概念と歴史	
9 限		文化としてのスポーツ	
10 限	トレーニング論 I	体力とは	
11 限		トレーニングの進め方	
12 限		トレーニングの種類	
13 限		トレーニング計画	
14 限		トレーニング発表	
15 限	スポーツ指導者に必要な医学的知識 I	スポーツと健康	
16 限		スポーツ活動中に多いケガや病気（内科）	
17 限		スポーツ活動中に多いケガや病気（外科）	
18 限		救急処置（救急蘇生法）	
19 限		救急処置（外科的応急処置）	
20 限	スポーツと栄養	スポーツと栄養	
21 限		指導計画の立て方	
22 限		スポーツ活動と安全管理	
23 限	ジュニア期のスポーツ	発育発達期の身体的特徴	
24 限		発育発達期の心理的特長	
25 限		発育発達期に多いケガや病気	
26 限		発育発達期のプログラム	
27 限	地域におけるスポーツ振興	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	
28 限	振り返り	振り返りを行う	
29 限	テスト	テストの実施	
30 限	テスト	返却・解説を行う	



## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> アウトドアセミナー I	<b>教員名</b> 浜端 郁子	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
<b>必修・選択の別</b> : <u>必修</u> ・ 選択	<b>担当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期 ・ 後期 ・ <u>集中</u>	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      野外活動を通じた交流を図るとともに、基本的技術を身につける                      ウィンタースポーツ技術の修得</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                      ・ 野外活動の安全管理とアクティビティについて学ぶ                      ・ ウィンタースポーツを学ぶ</p> <p><b>【授業における達成課題】</b>                      ・ 安全な野外活動ができる                      ・ スキー、スノーボードの基本の動作を習得し、安定した滑走ができる</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b>  <del>1. HR</del>      2. 介護実習室      3. 家政実習室      4. 視聴覚室                      5. PC実習室      6. 接遇実習室      <u>7. その他</u> ( 雫石スキー場 )</p>		
<p><b>【評価方法】</b>                      1. 筆記試験      2. レポート      <u>3. 出席</u>      <u>4. 授業態度</u>                      5. 実技試験      <del>6. その他</del> ( ルーブリック評価 )</p>		
<p><b>【備考】</b>                      評価について：出席率及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <u>無</u>  <b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
アウトドアセミナー I		15 限	浜端 郁子
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	野外活動	野外活動を行う。	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	スキー・スノーボード 実習（1日目）	安定した滑走ができるようになる。	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃（2日目）	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> アウトドアセミナーⅡ	<b>教員名</b> 伊藤 優汰		
<b>科目時間数</b> ： 15 限	<b>授業の種類</b> ： 講義 ・ 演習 ・ 実習		
<b>必修・選択の別</b> ： <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ <input type="radio"/> 選択	<b>担当学年</b> ： 2年 <b>開講時期</b> ： 前期・後期・集中		
<p><b>〔授業の目的・ねらい〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外活動を通じた交流を図るとともに、基本的技術を身につける</li> <li>・ ウィンタースポーツ技術の修得</li> </ul> <p><b>〔授業全体の内容の概要〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外活動の安全管理とアクティビティについて学ぶ</li> <li>・ ウィンタースポーツを学ぶ</li> </ul> <p><b>〔授業における達成課題〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全な野外活動ができる</li> <li>・ スキー、スノーボードの基本の動作を習得し、スピードをコントロールした滑走ができる</li> </ul>			
	使用教材	出版社	
<b>【使用教室】</b>			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ( )	
<b>【評価方法】</b>			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ( ルーブリック評価 )		
<b>【備考】</b>			
評価について：出席率及び実技試験の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
<b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無			
<b>【内容】</b>			

科目名	科目時間総数	教員名
アウトドアセミナーⅡ	15 限	伊藤 優汰
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1 限	野外活動	野外活動を行う。
2 限	〃	〃
3 限	〃	〃
4 限	〃	〃
5 限	〃	〃
6 限	〃	〃
7 限	〃	〃
8 限	スキー・スノーボード 実習（1日目）	ターンやスピードコントロールをした滑走ができる。
9 限	〃	〃
10 限	〃	〃
11 限	〃	〃
12 限	〃（2日目）	〃
13 限	〃	〃
14 限	〃	〃
15 限	〃	〃

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療スポーツ福祉専門学校

<b>科目名</b> 救命救急講習会	<b>教員名</b> 外部講師
<b>科目時間数</b> : 7 限	<b>授業の種類</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
<b>必修・選択の別</b> : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中 <input checked="" type="checkbox"/>
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> 一次救命処置の習得</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 指導員による、救急法講習</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> 一次救命処置の流れを習得し、講習を修了する</p>	
	使用教材
	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 ( <input checked="" type="checkbox"/> MCL校舎スタジオ )</p>	
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験                      2. レポート                      3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席                      4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 (                      )</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>評価について：筆記試験及び実技試験、授業態度の点数を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p><b>【内容】</b></p>	

科目名		科目時間総数	教員名
救命救急講習会		7 限	外部講師
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	救急法の目的について学ぶ	
2 限	傷害について	さまざまな傷害について学ぶ	
3 限	気道異物除去	気道の異物除去方法について学ぶ	
4 限	熱中症	熱中症に対する対応を学ぶ	
5 限	止血法/固定法	止血方法・受傷部位への固定法を学ぶ	
6 限	心肺蘇生法	AEDの使い方など、心肺蘇生について学ぶ	
7 限	〃	〃	

## 授業計画表

スポーツ健康 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<b>科目名</b> SAQインストラクター 認定講習会	<b>教員名</b> 外部講師 (クレーマージャパン)	
<b>科目時間数</b> : 15 限	<b>授業の種類</b> : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
<b>必修・選択の別</b> : 必修 ・ 選択	<b>配当学年</b> : 1年 <b>開講時期</b> : 前期・後期・集中	
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b> SAQにおけるスピード（走動作）、アジリティ（方向転換など）、クイックネス（反応の速さなど）の3領域の正しい知識・技術の習得</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b> SAQ認定講師による、実技を含む講義の実施</p> <p><b>【授業における達成課題】</b> SAQレベル1インストラクター資格の習得</p>		
	使用教材	出版社
<p><b>【使用教室】</b></p> <p>1. HR                      2. 介護実習室                      3. 家政実習室                      4. 視聴覚室 5. PC実習室                      6. 接遇実習室                      7. その他 (MCL校舎スタジオ)</p>		
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>1. 筆記試験                      2. レポート                      3. 出席                      4. 授業態度 5. 実技試験                      6. その他 ( )</p>		
<p><b>【備考】</b> 評価について：実技試験及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p><b>【担当教員の実務経験の有無】</b> 有 ・ 無</p> <p><b>【内容】</b></p>		

科目名		科目時間総数	教員名
SAQインストラクター認定		15 限	外部講師(クレーマー・ジャパン)
限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	プリパレーションタイム	プリパレーションタイムの意義と実際について学ぶ	
2 限	〃	〃	
3 限	スピード	加速動作について理解する	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	アジリティ	方向転換やラダーを使用したエクササイズについて理解する	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	クイックネス	刺激に対して反応する	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	体幹部のトレーニング	基本的な体幹部エクササイズについて理解する	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	テスト	実技試験を行う	